friendship force
AICHI

No.89

# Newsletter

今年 3 月 11 日の東日本大震災から半年が経ちました。まだまだ復興には程遠い地域が多く、被災された方々や大切な人を失われた方々への援助ができていないことに歯がゆさを感じる日々ですが、一日も早い東北日本の復興を心から祈るばかりです。

震災後ほどなくして、世界中から日本へさまざまな援助の手が差し伸べられ、各国からの日本に対するつながりを感じました。私たちもこれまで FF が培ってきた一人一人のつながりを今後も大切にしつつ、より信頼のある良いものへと発展させていければと思っております。

さて、ご存じのとおり、日本のフレンドシップ　フォースにおいては、震災以後、すべての受入交換が中止となりました。我々のクラブもブリストルからの受け入れを断念しましたが、この ED である橋本さんの身を切られるような思いはぜひとも皆様に知っておいていただきたいと思っております。とはいえ、当時の大震災、福島原発事故などによる不安な社会状況を考えると今ではこの選択に間違いはなかったと役員一同胸をなでおろしております。

この秋の渡航は何度も交流のあるイギリス「マンチェスター」と一部の方を受け入れたことのあるドイツ「ノーデルシュテッド」です。福島の郡山クラブから参加してくださる会員もいらっしゃいます。いつもとは違った渡航になるでしょうが、この渡航を皮切りに再び我々の活動が活発になっていくことを望みます。　　会長　加藤紀子

## ハンブルグ世界大会報告

FFJ 事務局、石井嗣代

ハンブルグでの世界大会は、予定通り 8 月 26 日から 30 日までドイツ、ハンブルグ郊外のベルゲドルフで開かれ、盛会裏に終わりました。ベルゲドルフは川の流れるそばに立つ古い教会やお城のある赴きある町でした。

22 カ国より 285 人の参加者がありました。

開会式では、愛知和男 FF 日本名誉顧問のほうから、3. 11 震災への数々のお見舞いへのお礼と近況報告のスピーチがありました。

最後の日には、広島クラブの森川さんより来年の広島大会へのご招待のプレゼンテーションが行なわれました。既にロゴも広島のほうで製作、それを使ってのプレゼンでした。参加者一同で、どうぞ広島に来て下さいと呼びかけして、大会は終わりました。

## 今年の FF 愛知の活動を考える

会長　加藤紀子

受け入れ交換の無いこの 1 年間の愛知クラブの活動を活発なものにし、会員の親睦を深めるために役員会ではこの夏、様々な企画をしました。多くの参加者が交流を楽しみました。

1. 親睦バス旅行 7/10 →P.2
2. 手芸講座 1　7/26 →P.3
3. 手芸講座 2　8/22 →P.3

**秋のスケジュール**

渡航：Manchester & Norderstedt
9/26~10/11　参加者 16 人

Asia Pacific Festival in Thailand
11/8~16　参加者 9 人

# クラブ内交流プログラム

## ≪プログラム１．親睦バス旅行　安曇野　７月１０日≫

受け入れ交換の無いこの１年、会員同士の良い交流を続けるため企画されたバス旅行､参加費を低く抑え､バスの運行、その他の経費は会で負担した。安曇野在住の会員、富岡ひろみさんの案内で通常のものとはちがう安曇野観光を楽しむことが出来た。今回は 42 名もの会員の参加があった。

安曇野風景スケッチ　富岡久子

### *安曇野バス旅行に参加して*　　*鳥林常利*

FF 愛知の皆さん、こんにちは。先日の安曇野ツアーに同行させていただいた鳥林です。折しもＮＨＫ朝ドラの「おひさま」の舞台ということで人気の観光スポットであったようですが現地の富岡さんの配慮のおかげでスムーズに移動できたことを感謝したいと思います。

実は歓迎会、忘年会等に参加したことはありますがバスツアーは初めての参加でした。ここ数年顔を出していなかっただけに旧知の皆さんからバッシングされるかと戦々恐々としていましたが明るく迎えていただいてホッとしました。安曇野バスツアーのために前もって準備していただいた皆さん、本当にお疲れさまでした。長時間のバスの中でしたがいろいろと準備していただき楽しく過ごすことができました。まさか即興で英会話教室を開くハメになるとは思いませんでしたが久しぶりに大人の皆さんを相手に話をすることができ楽しかったです。趣味で英会話を学んでいると言われる方がいらっしゃいますが言葉というのは意思を伝達する手段であり、道具であることはこの FF メンバーの皆さんが一番よく知っていらっしゃると思います。英会話も趣味の段階ですとせっかく覚えたフレーズも知らずうちに忘れてしまうものですがその覚えたフレーズを実際に使ってみて初めて自分のものになります。会話の中で覚えたフレーズが出てくると嬉しいものですがそれが相手に伝われば嬉しさも倍増ですよね。実践こそがすべてであることを意識して間違いを恐れずに外国人に話しかけてほしいです。次回の訪問予定はイギリスと聞いていますが目前の目標ばかりでなく、今後の訪問を楽しむためにも皆さんと一緒に英会話を学べたらいいですね。

安曇野バスツアーに参加された皆さん、お疲れさまでした。これからもよろしくお願いします

### *安曇野バス旅行*　　*長野よしみ*

皆さん、こんにちは。昨年会員になったばかりの長野です。実は安曇野には以前から行ってみたいと思っていたので、今回の旅行はとても楽しみにしていました。

富岡さんの入念な準備と、役員の皆様のお陰で想像以上に楽しい一日を過ごすことができたことを心から感謝したいと思います。高橋節郎記念美術館では、初めて目にする漆芸術の素晴らしさに深い感銘を受け、次に立ち寄った上原良司メッセージを発信する丘では、富岡さんの熱心な説明に聞き入りました。　その後、なんとバスを一般道路に止めて、全員で富岡さんのお宅を訪問しました。わずかな時間でしたが、ご夫妻の安曇野での暮らしぶりがよくわかりました。最後に訪れた“絵本美術館森のおうち”では、コーヒーを飲みながら会員の方々から、今までのホームステイのお話をたくさん聞くことができたので、私もいつかアンバサダーとして外国に行ってみたくなりました。

皆さん全員とても気さくな方ばかりだったので、初対面という気がしませんでした。パンやケーキを作って下さった加藤紀子会長、杉江さん、幹事さん本当にお疲れ様でした。今後このような企画があれば、また参加したいと思います。

## *安曇野から* *富岡ひろみ*

FF 愛知の皆様、安曇野へようこそおいでくださいました。生まれてはじめてのびっくり、大型バスツアーガイド。引くに引けなくなっていつもの度胸をふるいおこし、それでも私たちが心配したのは御案内したい場所に果たして大型バスが行きつけるかということ（雰囲気のあるスポットはたいてい大通りにはないのです。）と、レストランの予約時間を守りたいと思ったことでした。そのために夫と二人でいろんな道を走っては道幅やコーナーを確かめ、めぐるルートの所要時間を計ったりしました。みなさんの御協力のおかげでスムーズな動きがとれ、にわかガイドはお見送りした後ホット胸をなでおろしました。

私たちのそもそもの安曇野との出会いは上高地の帰りにのぞいたここの景色と臼井吉見の著作「安曇野」に触発されたことでした。それに私の DIY 好きとが重なって夫の定年後に住み着いたのですが友人知人もでき夫の農作業の腕も上がっておいしい野菜もたっぷりいただけるようになりました。ユニークな文化都市松本もそんなに遠くはなく、どこの町村とも合併しなかった松川村の規模の小ささも田舎に生まれ育った私達の身の丈に合っているのかも知れません。日頃欠席がちの私たちでしたがこの機会のお陰で一気に大勢のメンバーの方たちと親しく知り合い、お話できたことをとても幸せに思っております。「おひさま」ブームが終わったら素顔に戻った安曇野への気軽な再度のお訪ねを心待ちしています。

### ≪プログラム２. 交換でのお土産作り講習会　7月26日≫

≪講師：佐藤美知子≫

会場は土居陽子さん宅、女性 11 名に男性 1 名の参加があり楽しい交流会となりました。初めての手芸の講習会は和やかな雰囲気の中で行われ、全員が作品を完成させました。土居さんの素晴らしいお料理に感動しながら充実した時間を共有できたことを感謝いたします。

## *手芸エンドウ豆の講習会に参加して* *白木美佐子*

今年の猛暑を、いかに乗り越えるかと考えあぐねていた折り手芸エンドウ豆の講習会の知らせが目にとまり、しばらくお休みしていました FF の行事に参加することに。手作りのプレゼントをする機会が少なくなった昨今、気軽に渡せるエンドウ豆のストラップは、作っていて温かみが伝わってきました。

土居陽子さん手作りのランチは、みょうがと青ジソのさわやかなひじき寿司、色とりどりの夏野菜の素揚げ、春巻き…などの料理がテーブルに並べられ、話はいつまでも尽きることなく楽しいひと時を過ごしました。

この企画を作ってくださいました加藤会長、佐藤さん、土居さんありがとうございました。

家に帰ったら、母の箪笥から着物の残り布で、母の着物姿を思い浮かべて作ってみようと…そして涼しい夏散らし寿司もお供えして。

### ≪プログラム３. 交換でのお土産作り講習会　8月22日≫

≪講師：仲村郁子≫

エンドウ豆の講習会が好評につき第２弾として Casserole Carrier の講習会が企画されました。今回も会場は土居陽子さん宅でミシン 5 台が持ち込まれ、12 名の参加者が熱心に作品を仕上げました。

# 報告とお知らせ

## 中部ブロック会議　6 月 11 日

2011 年の中部ブロック会議は 6 月 11 日三重クラブ主催で伊勢市観光文化会館において行われた。

各クラブの参加人数：三重クラブ 26 名、岐阜クラブ 10 名、静岡クラブ 2 名、大阪クラブ 6 名、奈良クラブ 6 名、愛知クラブ 10 名　計 60 名

議題：

1．国内交換について：

奈良クラブでは過去に 3 回行っている。いずれも運営方法など有意義な情報交換が出来、会員同士の交流も楽しむことが出来て有意義であるとの報告があった。

2．ED の養成について：

各クラブ様々な工夫がされているが、いずれのクラブも交換は ED と一緒に参加者が仕事の分担をして行っている。

奈良クラブでは ED 養成講座が開かれ、将来の ED の育成が行われている。

3．東日本大震災について：

交換：すべてのクラブから今年度の受入交換のキャンセルの報告があった。

義援金：中部ブロックとして一括しての寄付の形を取る方法も考えられたが、各クラブ自主的な活動になった。愛知クラブはそれに先立ち、募金活動を始め 4 月 1 日には 32 万円の義援金を日本赤十字社に送った。

その後始まった東京クラブの余村さんの T シャツキャンペーンは災害時の助け合いの意識を共有できて良かった。

☺ 新入会員紹介 ☺

満留禎依子さん　半田市在住

紹介者　加藤紀子

## カナダでチャリティーコンサート

堀　夏江さん

9 月 3 日、カナダのトロントで開催された東日本大震災のチャリティーコンサートで FF 愛知の会員の堀　夏江さんは瀬戸市の和太鼓チームのリーダーとしてメンバー9 人と演奏活動をされました。収益金はカナダ赤十字を通して震災復興の義援金にされました。

**Drum for funds**

The fundraising event, Tsunami Relief Effort, at the Thunder Bay's West Thunder Community Centre on Saturday evening.

The Tsunami Relief Effort raised money for the Canada Red Cross specifically to aid the damage done by the Japanese tsunami in March.　—THE CHRONICLE JOURNAL

## 冬の親睦会のお知らせ

白木裕己

"晩秋の京都観光と京料理を楽しむ"

1．期日：12 月 10 日（土）

2．集合場所：JR 名古屋駅新幹線口

集合時間：8:00 a.m.

3．行先：京都・京料理の店「萬重」

4．参加費：10,000 円　（後日はがきで案内）

編集・発行　FF 愛知　会　長：加藤紀子

事務局：西村貴美子　kk-nishi@ma.medis.ne.jp

〒愛知県知多市八幡字笹廻間 12-199　Tel. & Fax 0562-34-0890

ニューズレター編集・製作：　鷹野晴子　htkn@ma.medias.ne.jp

ホームページ　編集・製作：　谷川智恵子

◆ ホームページ　http://ffaichi.web.fc2.com/ ◆